

市立病院だより

ほほえみ



発行 越谷市立病院
 発行人 院長 丸木 親
 編集 院内情報誌編集委員会
 連絡先 〒343-8577
 越谷市東越谷10-32
 電話 048-965-2221 (代)
 F A X 048-965-3019
 発行日 令和3年(2021年)1月
 (No.46)

新型コロナウイルスと

インフルエンザ感染対策について

呼吸器科 医師

にしまさ たかやす
 西牧 孝泰

今回は、新型コロナウイルス感染症対策を中心とした感染症対策についてご説明いたします。

新型コロナウイルス感染症が、2020年1月に初めて国内で発生報告されてから約1年が経ちましたが、現在冬の時期に入り全国的に感染拡大が広がってきており問題となつています。

冬は気温が下がり、空気が乾燥するため呼吸器感染症が流行しやすい環境にあります。新型コロナウイルスは感染のしやすさという点では季節性のインフルエンザより容易に感染すると言われています。

主な感染経路は飛沫感染で、感染性のある人が咳、くしゃみや会話する際に出す飛沫を吸い込むことによって感染すると言われています。

また換気の悪い空間などでは、飛沫が空間に残っており、同じ空間を共有したりすることで、直接的に飛沫を浴びなくても感染するとも言われており、このような背景を踏まえて、一般的に人と接するときにはマスクをつけること、手洗い・消毒をこまめに行うこと、3つの密(密閉空間、密集場所、密接場面)を避けることなどが推奨されています。

また症状が出る前の無症状の時期から感染性を発揮すると考えられていることが感染症対策を難しくしていると考えられます。人への感染性のピークは症状出現の約2日前から出現直後にかけてと言われており、「症状がない」からと油断している時に実は他の人にうつしている可能性があるという点、逆に相手に症状がなくても自分うつしている可能性がりますので、普段から常に感染症対策を徹底することが非常に大事になってきます。

幸いにも感染症対策が徹底されるようになったことで、季節性のインフルエンザは例年の同時期より少ない状況です。

新型コロナウイルス感染症にもかかわらず呼吸器感染症を予防するという点で、感染症対策はとも有効です。



インフルエンザワクチンに関しては、発症をある程度抑える効果と、かかった際に重症化するリスクを下げると報告がされており、高齢者や基礎疾患のある方を含め予防接種が推奨されています。

新型コロナウイルスのワクチンは、現在日本ではまだ開始されておりませんが、今後日本でも接種が始まり、推奨されるようになると思います。

「もっと対策をしておけばよかった」と後悔しないためにも、自分自身を病気から守るため、そして周りの大切な人を病気から守るためにも、引き続き感染症対策を行っていただきたいと思います。

皆様でこの危機を乗り越えていけるように頑張っていきましょう。



◇ 医事課よりお知らせ ◇
初診時選定療養費の改定について

市立病院では、医療の機能分化を推進する観点から、他の医療機関等からの「紹介状」をお持ちでなく、直接来院された初診の方について、初診料とは別に初診時選定療養費をご負担いただいております。

令和3年1月より、さらなる機能分化を推進するため、「表1」のとおり初診時選定療養費を改定しました。

【表1】

初診時選定療養費の改定表	
期 間	料 金
令和2年12月まで	2,900円 【変更前】
令和3年 1月から	3,900円 【変更後】

※なお、紹介状を持って受診された場合、この分の患者様負担はありません。他に、救急車で搬送されてきた方、公費負担医療制度(特定の障害、疾病等に限る)を受給されている方、生活保護法の医療扶助の対象となっている方なども同様です。

※お問い合わせ先 市立病院 医事課 ☎048-965-4532

まずは、お住まいの地域のかかりつけ医を受診してください。

重症である場合や更に検査を必要とする場合には紹介状を書いてもらい、それを持って市立病院を受診していただくようお願いいたします。

かかりつけ医からの紹介状を持参することにより、患者様の今までの診療経過や検査、投薬情報を正確に把握でき、それらの重複提供を避けられ、医療費の負担が少なくなる場合もあります。

〈かかりつけ医を持ちましょう〉

かかりつけ医とは、普段患者様の様子を分かっている、気軽に健康相談や病気の相談にのってくれる「お住まいの地域のお医者さん」のことです。

「何か体調が優れないな」「具合が思わしくないな」と感じた際、かかりつけ医の診察を受けることで、患者様自身の体調の変化などを詳しく把握でき、かかりつけ医からより適切なアドバイスをもらうことができます。

なお、市立病院では、地域のかかりつけ医と連携し、患者様に安心できる医療提供を目指した「地域医療連携」に力を入れております。

患者様を「かかりつけ医」と「市立病院」の二人の主治医で診ていくことで、より安心した診療を行うことができますので、ぜひ身近に「かかりつけ医」を持つようにしてください。

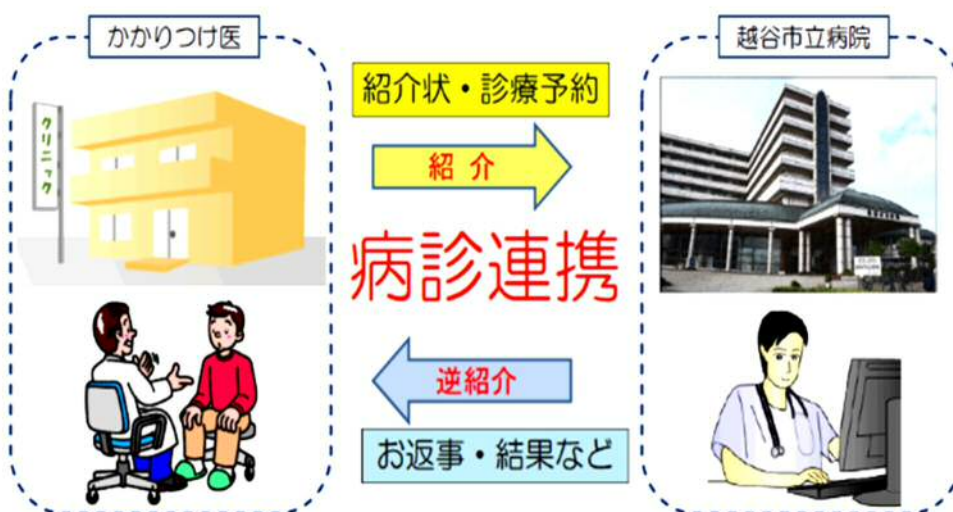
〈病診連携外来予約のご活用を〉

かかりつけ医から市立病院の外来診療を予約することができます。

事前に予約日時を決めることで、事前に患者様のカルテなどの準備ができ、当日はスムーズに診療などを行うことができます。

患者様は、当日、かかりつけ医からの紹介状を持って医療連携受付に来ていただくと、職員が診療科までご案内し、医師は予約時間を大幅に遅れることなく診察又は検査を開始することができます。

市立病院の外来診療の予約をご希望でしたら、かかりつけ医にご相談ください。



現在おかけの主治医または医療連携室（1階）にご相談ください。

越谷市保健医療部地域医療課よりご案内

～新型コロナウイルス感染の疑いは『かかりつけ医』へ相談を～

全国的に新型コロナウイルスの感染が拡大する中、越谷市においても十分な警戒が必要な状況が続いています。

引き続き3つの密、「密閉」「密集」「密接」を避けるとともに、こまめな手洗いや消毒、咳エチケットなどの感染予防策に努めましょう。

また、越谷市では、新型コロナウイルス感染症検査体制の強化を目的として越谷市医師会と連携し、PCR検査の検体採取をドライブスルー方式で行う「越谷市地域外来・検査センター」を設置し、PCR検査の充実を図っています。さらに埼玉県と連携し、越谷医師会の協力をいただき、発熱者が迷うことなく身近な診療所等で新型コロナウイルス感染症検査が受けられる体制を整備しました。現在、市内67の医療機関が発熱患者の診療や検査に尽力されています。

発熱などの症状がある場合は、仕事や学校を休み、外出を控えてください。(休むことはご本人のためにもなりますし、感染拡大の防止にもつながる大切な行動です。)

また発熱などの症状があつて心配なときは、かかりつけ医に相談してください。(かかりつけ医とは、普段の患者さんの様子をわかっていて、気軽に健康相談や病気の相談にのってくれるお医者さんのことです。)

相談する医療機関がわからないときは、埼玉県ホームページにて「埼玉県指定診療・検査医療機関」を検索するか、または「埼玉県受診・相談センター」「県民サポートセンター」までご相談ください。

発熱患者等の相談・診療・検査の流れ

相談する医療機関が分からない

埼玉県ホームページで「埼玉県指定 診療・検査医療機関」を確認

または

埼玉県受診・相談センター(9:00～17:30・日曜日除く)
 ☎048-762-8026 Fax048-816-5801

県民サポートセンター(24時間・年中無休)
 ☎0570-783-770 Fax048-830-4808

※Faxの場合は回答にお時間をいただくことがあります。

必ず事前連絡してから受診 診療・検査
※検査は、医師が必要と認めた場合に行います。

必ず事前連絡してから受診 案内先の医療機関で診療・検査
※検査は、医師が必要と認めた場合に行います。

〈医療機関を受診する際のお願い〉

①ほかの症状の患者さんと接触しないように、医療機関では受付時間や診療場所を分けています。必ず事前に連絡してから受診してください。事前に連絡をせずに医療機関に行った場合、受診できないことがあります。

②受診の際はマスクを着用し、医療機関の指示に従ってください。

③公共交通機関の利用を控えて受診してください。

編集後記

本格的な寒さが到来し、空気が乾燥する時期となりました。この時期は体調が崩れやすくなりますので、日頃からの十分な体調管理が大切になります。

また、新型コロナウイルスの感染拡大も収まる心配がなく、都心を中心に感染者が増えていきます。一人一人が、こまめな感染予防対策を徹底することで感染拡大防止にもつながります。皆様自身のため、大切なご家族や友人のためにも、十分な体調管理と感染予防対策を行い、この厳しい冬を乗り越えましょう。

○ 令和2年(2020年) 10月1日以降
 新採用医師の紹介

(呼吸器科) 相馬 聡一郎 (令和3年1月1日付)	(呼吸器科) 岡本 翔一 (令和3年1月1日付)	(外科) 神保 ひかり (令和2年10月1日付)
---------------------------------	--------------------------------	--------------------------------